

# 全教・都教組 杉並支部 ニュース

東京都教職員組合  
杉並支部情宣部  
2019年  
6月25日  
NO.4  
Tel 3399-8719  
Fax 3399-3855  
Eメール

## 2019年度第75回

### 都教組杉並支部・女性部 定期大会 成功裏に終了

多忙な中、協力いただいたすべての方に感謝します。

去る6月5日（水）産業商工会館で第75回定期大会が開かれました。来賓を代表して都教組委員長の木下雅英さん（元杉並支部書記長・委員長）が挨拶をしました。今年度は、超多忙な中で頑張っている組合員の声をでるだけ大会に反映できるように、議事運営を改善しました。そのため、のべ19人の方が発言。職場の実態やその中で奮闘する報告が相次ぎました。



切実な職場報告が相次ぎ、耳を傾ける参加者の皆さん

### 報告がたれ 職場から 要求がたれ 皆さん出 きました。

現状を変えたい  
9時半には帰ることにしている。副校長が「警備の働き方改革もあるので、9時15分には帰って、8時過ぎたら、教室ではなくて職員室で」と言う。しかし、仕事は終わらない。土日もある。仕事のやり方を変えなくてはならない。現状を打破するにはどうすればよいか。  
(小)

うるさく言つ前に  
テストを返さなかったと

いうことがニュースになった時、校長は「すぐ返すように」と言うし、副校長は「皆さん早く帰ろうね。8時になったら声を掛けるから」と言っていて、一人ひとりに声を掛ける。体を壊すくらい遅くまで残っているのは良くないと思いつつも、学校でないとできない仕事がたくさんある。何とか出来ればいいが、あまりうるさく言わないで。  
(小)

子どものための学校に

先生も忙しければ子どもも忙しい。やれ行事だなんて分刻みで動き回っている。そんな時、気持ち的に不安定な子や校内徘徊、保健室登校も増えてくる。学校が子どもたちにとって安心できる居場所ではなくて、学習指導要領も学校の本質的な在り方を

7月の支部委員会  
7月2日（火）18:30  
産業商工会館  
各職場からの参加を  
お願いします。

考えないといけないのではないか。子どものためと思ってやっていることが、実は子どもを追いやっていていることもあるのではないかと。子どもたちの学校とは何なのか、考えたい。  
(小)



短冊には職場の願いがびっしり

新採用と一緒に  
新採を迎え、職場は若さと活気が。しかし、「主体的学び」とかいろいろな課題が盛りだくさん。どこがどうで、何が判らないのか、悩んでいるようだ。一緒に学んでいきたいと思っている。  
(小)

高いハードル  
中学校も今「主体的、対話的な指導」といつて今までにない指導が求められていて、新採にとってもそれが高いハードルになっている。新しい職

場の文化の違いもあると思うし、悩んでいる。  
(中)

管理職は人を育てる意識を、職員室でよく泣いている。話を聞いて励ましているが、管理職はおろおろ。困っている担任に対しても、腫れ物にさわるように見ている。管理職って何だろう。もっと若い人を育てていくということを考えてもらいたい。  
(小)

病欠代替を早く

職場で病欠の方がいるが、その人の代わりの人が来ない。そのため学校中の人が忙しくさせられ、みんな疲れ切っている。管理職も区教委も本気になって人を探してほしい。  
(小)

学校でできること  
「働き方改革」ということで、いろいろな業務の精選をするため、去年まで中間的にやってきたことを見直して、今年からはこれを無くしたいとやってきた。少しでも負担が軽くなるよう分担の仕方も考えたい。  
(中)

### 署名・アンケート・募金へのご協力よろしくお願ひします

教育予算職場アンケート  
都労連全教職員署名  
働き方・緊急アンケート  
原水禁、母親大会募金

支部大会へのメッセージを多数いただき、支部ニュース・大会特集に掲載いたしました。また、次にお二方のメッセージが印刷間に合いませんでした。大会会場に掲示させていただきます。紹介いたします。  
(敬称略)

杉並ぞうれっしや合唱団  
服部 安宏・山北 敦子

定期大会の成功を心よりお祈りしています。  
きびしい長時間労働の中、未来にはばたく子どもたちのために、働き続けている皆様の闘いに連帯し、地域で活躍する私たちも「うたごえは平和の力」を生きる力を大切に、3代の親子が「ぞうれっしや」を歌います。

今年11月4日にセシオン杉並でコンサート開催です。子ども達の笑顔に励まされ、エネルギーをもらい、共にがんばりましょう。

都教組世田谷支部委員長  
神 良治

支部大会おめでとうございませう。安倍政権は、武器購入や原発、沖縄のへの新基地問題など、民意を無視し続けながら「改元」を利用して、憲法改悪を押し進めようとして守るために子どもと教育を守ろう。子どもと教育を守ろう。

ちようちんデモ、あなたも参加してみませんか？  
消費税上げるな！憲法改悪ストップ！政治を変えよう！

### 7・10 杉並区民集会

7月10日（水）18時30分  
蚕糸の森公園大滝前広場  
集会後、ちようちんデモ  
主催 同実行委員会  
(東京土建、区職労、区労連など)

職員会議の形骸化怖い

最近、職員会議が形骸化されているように思えてならない。職員会議でいろいろ話し合った上、校長が「こうしてほしい」と最終的判断するならよいが、いつの間にか決まってしまうている。先生方もそういうことに疑問を持たず、流れていくのは怖いと思う。忙しくても少しでも話し合っ

(中)

子どもの基本的な人権

子どもの「表現の自由」の侵害や子どもに付度を求める指導の話を聞くようになった。こういうことから弁護士や裁判官に目を通していただいて「日本国憲法の話―基本的人権」という説明文をまとめた。ぜひ参考に。

(小)

ITC教育の担当部署は?

ITC教育に関して、役所の方から、小学校の情報の授業はこういう指導案を書かせてやりなさいといってくる。お金をを出しているのだからということかもしれないが、それは違うのではないか。役所の方は条件整備が担当ではないかな。

(小)

書類の軽減を

書類の提出をもっと軽くしてほしい。少人数加配の申請書類などは、毎年、何時間やっているか、学力検査の分析を

して成果も書かなければならない。書き直しもさせられる。大変な努力。区の政策でやっていることの書類はもっと簡単に。または削減を。

(中)

大規模校に産業医を

涙、涙。まじめで一生懸命仕事をしている人がつぶれていく。話を聞いてくれたら気持ちも安らぐのに。児童数も職員数も大規模校。こんなとき「産業医」がとれるはず。役所にも聞いたが、「今年予算がないので、来年度に向けて、産業医がとれるよう管理職の先生に言ってください」とのこと。実現して、学期に一回産業医を招き職場環境について話をしたい。

(小)

免許更新制はいらない

都教委から、再任用、退職した人に「意欲のある方ぜひ働いてください」というパンフレットが届いた。それによると、非常勤と講師が一本化され、年齢制限がなくなるといふ。いつまでも働いてくださいということか。でも、65歳過ぎたらもう一回免許更新しないといけないと書いてある。人が足りなくて困っている時に、3万円も払って、もう一度免許更新の受講とは。こんなことをしていたら人が回らなくなるんじゃないか? こんな制度はいらない。

(小)

育児支援休暇をとった

育児支援休暇という制度があるのを組合員手帳で知った。その恩恵を受けて、去年初めてとり、有効活用できた。組合があつて本当に良かった。

(中)

給料上げて

定年後の進路選択はいろいろあるが、何よりも年金がすぐに出ない。非常勤教員も考えたが条件は厳しいし待遇は良くない。それで再任用を選んだ。しかし、今までのように暮らせるかという給料は



子どもに、教職員にもっとゆとりを!

6割、年金は停止。それでも仕事は全く同じ。働けるということとは有り難いことだが、もっと給料を上げるべきだ。

(小)

身体に良くない変形労働時間制

先生方は8時9時まで残っているのが当たり前のよう。それを勤務時間にしてその分を8月とかにまとめて休めば、という考えもあるが、しかし、

70歳まで働き続けることを考えると、体の負担や生活の犠牲になるものを長く続けてよいはずはない。

(小)

主幹教諭もつらい

主幹教諭は一度なつたらずっと続いていく。長時間労働も続くことになる。しかし、家庭を持てば家族と過ごす時間子どもがいれば平日の夜はなおさら大事にしたい。副校長になつたりすると早く帰れないのはつらいのでは。人それぞれのワークライフバランスによつて仕事ができるといい。

(中)

何もかも満杯

済美養護学校の児童生徒数は130人近い。去年に比べて20人増えている。そのため教室でなかつたところを急遽教室に仕上げてやっている。職員室も本場にびっくりするほどの狭さ。人もすれ違えないくらいだ。

そして、こんなに授業の略案を毎週毎週書かなければならないとは。学年3クラスで教員は2人ずつ。しかし、生徒を帰す3時半まではとても職員室に戻れない。その後諸会議もあり、チームや学年での打ち合わせ時間がとれない。学年合同の授業を毎日毎日続けるのだから、意思疎通のためには略案を書いて読んでおいて、ということになる。毎日大変だ。

(済美養護)

仲間とつながりたい

要求カードには「時間が欲しい。仲間が欲しい」と書いた。子どもたちをどう見守っていくか、家庭をどう支えていくかは共通の思い。一人ひとりとはみんないい人。しかし、個々の動きになつている。横のつながりを大切にしたい。

(小)

お茶会が楽しい

職員会議の後の職場会をやつてきた。茶話会というからお茶会だ。仲間だということなので腹を割つて話もできる。30人以下学級とか変形労働制、社会で問題になつていくことなども話せる。組合からの資料もありがたい。

(小)

組合が助けてくれた

悪質なパワハラで辞める寸前までいった。その時声を掛けて相談に乗ってくれたのが組合の人だった。こつこつと今仕事ができるのが嬉しい。だから恩返しをしたい。困つたら声をかけてください。

(中)

またもや、日本の教員は事務作業などに追われ、勤務時間が小中学校とも参加国中最長。19日、OECDが公表。参加国平均の1.5倍。教職員増は急務!

8/4~8/4 開催20回記念 戦争・原爆・原発・平和と憲法を考える展示とイベント

すぎなみピースフォーラム 2019

杉並の戦争と平和の歴史を知るまたとない機会です

教職員のみならず、お誘いありたい

展示内容の例: 「杉並の戦争と平和」「特別展示・朝鮮3・1独立運動100年」「原爆と人間 証言: 横田基地・住民の願い・住民の運動 小学生に被爆体験を語る活動(4日13:30~)

会場: 区立産業商工会館 主催: 杉並ピースフォーラム実行委員会 後援: 杉並区・杉並区教育委員会